

宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和7年度第1回） 会議録		作成	令和7年11月14日(金)
			宮津市企画財政部財政課
開催日時	令和7年11月14日(金) 10時00分～12時00分	出席者	別紙「委員名簿のとおり」
開催場所	宮津市防災拠点施設（宮津与謝消防署宮津分署2階）	【公開】	

■宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和7年度第1回）の概要

宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和7年度第1回）（以下「会議」という。）は次第のとおり進行され、その概要は下記のとおり。

1 開会

◆副市長挨拶

○本会議では、令和2年9月に策定しました「宮津市公共施設再編方針」に基づく個別施設毎の対応方針に沿って、市がその取り組みを計画的かつ着実に進めているかを、検証いただくこととしている。

○再編方針の策定後、年1回のペースで開催しており、今年度は、令和7年度までの実施を目標とするフェーズIの最終年度となっている。この間、令和6年度末までに54施設、52.4%の再編が進められてきたが、その一方で、地元や関係者との話し合いを進める中で、見えてきた課題や人口減少が更に進んでいる状況もある。そうした中で、引き続き再編をしっかりと進めるとともに、令和8年度からのフェーズII以降に向けて、課題整理等を行うこととした。

○この後、事務局から令和6年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果の報告があり、一旦、施設見学へ向かった後、一括して意見交換を行いますので、よろしくお願いします。

◆事務局説明

○委員を資料1により紹介。令和7・8年度の任期において、委員として再任をお願いしたところ、名簿に記載の8名の皆さんに再任のご承諾をいただいた。

○座長は、引き続き谷口委員が選出された。

2 報告

○令和6年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果について、事務局から資料2に沿って説明。資料3～資料7については適宜、補足説明。

3 施設見学

○令和6年度に地元自治会へ無償譲渡した文珠公民館横公衆便所・令和7年度から指定管理者制度を導入した天橋立駐車場の見学を行った。

4 意見交換

○上記2の報告で事務局から説明した「令和6年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果」及び「施設見学」等に関して、以下のとおり意見交換を行った。

(委員) (文珠公民館横公衆便所について) 宮津全体の観光を考えたときには、美しいトイレが観光名所にあるということは大事なことなので、現状、トイレがあることが分かりづらいが、市としてトイレがあることを観光客に分かるようにサインを付けることを、観光施策の一環として取り組むべき。

(天橋立駐車場について) バスは利用できるのか。

(委員) バスも利用できる。団体のバスは、まずは文珠側の無料駐車場を利用して、そこが使えない場合は利用という客足になっていると考えられる。現状、天橋立駐車場については、夜間は利用できないが、市として夜間のイベント等を行う場合があるので、夜間利用に向けていろいろ課題があると思うが、地域の皆さんと話し合いをしながら、地域の魅力を高める意味で柔軟に対応できればと考えている。

(委員) 資料3で旧上宮津保育所や世屋高原家族旅行村、国分共同集会所が休止・廃止となっているが、建物自体はあるのか。また、その管理・運営は市がしているのか。

(事務局) 旧上宮津保育所や世屋高原家族旅行村、国分共同集会所は今のところ、空き家として市が管理している。除却について検討する必要があるが、財政的な問題もあるため、優先順位を決めて必要なところから実施している状況。

(委員) 電気や水道は通っているのか。

(事務局) 電気や水道を全て切った状態で管理している。旧上宮津保育所については、地元での利用があるため無償で貸し出し、維持管理費については地元負担でお願いしている。

(委員) 2点質問。1点目は、文珠の公衆トイレの寄附について。改修費の2,000万円の寄附はどこが主体で寄附いただいたのか。2点目は、トイレの維持管理の考え方について。地元と観光協会が連携しているのは、文珠だから成り立っている。他の地域の維持管理の考え方について教えてほしい。

(事務局) 寄附は文珠のまちづくりのために匿名でいただいた。あわせて、地元との公衆便所をどうするかの協議が同じタイミングで重なり合ったことから改修が実現した。他の地域の公衆トイレの維持管理については、市から地元に無償譲渡する際に施設譲渡

負担金を支払うという対応を取っている。施設譲渡負担金は、初期費用とそのあとの維持管理の相当の費用。その資金で解体を選択する自治会もあるし、地元の団体と維持管理を選択する自治会もある。

(委員) まちづくりのための寄附、素晴らしい。

(委員) 以前金引の滝に行った際に、集金箱のようなものが設置してあった。これで集金したお金を使用して維持管理できるんだなと感心した。

(委員) 地元で考えて、維持管理に税金を使用しない工夫をされているんですね。

(委員) 各自治会で管理しているトイレも、今後老朽化していくことが考えられる。老朽化してきたときに、市は協議に応じてくれるのか。なお、文珠の観光トイレについては資料5、金引の滝のトイレについては資料3に「今後の新たな管理のあり方について協議を進める」とある。今後、そういう相談がある可能性があると考えられるが市はどう考えているか。

(事務局) 「今後の新たな管理のあり方について協議を進める」については、令和2年9月の再編方針書に書いてある内容。市としてはそのなかで除却の方針を打ち出している。除却せずに新たな管理のあり方で地元として維持管理できるようであれば、そのための協議をさせていただくという意味。基本的には、公共施設としてのトイレではなく、地元管理のトイレということでお世話になっている。

(委員) 市としての基本スタンスは、10年後、20年後、老朽化して修理の依頼が地元から相談があつても、市としてはその相談に応えられない。個人的には、そのときの状況で、観光施策として必要であるということになれば、別途考えてもよいかなと思う。民間事業者がホテルを改修するときに、補助金を活用する事例もある。知恵を出しながら、市民にも観光客にも快適に使ってもらえるトイレが維持できればと思う。

また、フェーズⅠの達成率は52.4%、約半分の達成ということだが、これについては市はどう評価されているか。

(事務局) 今年度フェーズⅠの最終年度で、再編方針に基づく対策がまだ残ってる施設が49施設、47.6%、フェーズⅠの中で未達成の施設がある。今年度の庁舎移転の動きやウォーターフロントの動きで、今年度中に一部施設について達成をできると考えている。しかし、課題があり達成が難しい施設もある。それらは、フェーズⅡにおいて、地元との話し合いの中で出てきた課題等を整理しながら、どのように実施していくか

は検討していくべきと考えている。また、未達成の施設のなかには、達成はしたが活用ができていない遊休施設も含まれており、遊休施設のストック活用は次のステップで、大きな課題になってくると考えている。市としては、地元との話し合いの中で引き続き進めてきたい。

(委員) 100%目指してやってきたところ、達成率が上がらなかつたことについての分析はこれからか。

(委員) 今回の結果を検証して、52.4%が高いのか低いのか判断していきたい。地元と話をする中で、施設を残していくほしいという声もあがっていた。地元の意見も考慮して、今後どういう風に進めていくか再編方針書の見直しに向けて検討していきたい。話し合いに応じてもらえない地域もあったが、基本的にすべての施設について関係者や地元にアプローチしてきた。個人的には、よく52.4%達成できたなと思っている。今後の課題としては、用途廃止したもののが残っている施設があり、そこの解体撤去や利活用方法について検討していかないといけない。

(委員) 公共施設マネジメントの最初の計画では、コストカットを目指してきたが、地域との話のなかで必要な施設が出てくるかなと思う。そうなった場合、当初廃止予定だったが、柔軟にまた違う形で運用していくのはあり得る。重要な施設は、必要なものとして残していくというのもあるのかなと思う。

(委員) 資料4の指定管理者制度導入施設の状況のなかで前尾記念クロスワークセンターについて、令和7年度の予算がR5、R6と比べて経費がかかっている。どういう要因があるのか聞きたい。

(事務局) クロスワークセンターのスタートの3年間は、関係人口の創出で地域の方と外から関わる人をつなぐ役割をしていた。その役割に加えて、市として力を入れている移住定住の機能も令和7年度から一体にして担ってもらうこととなった。今回の経費の増要因は、建物の管理費が上がったということではなく、ソフト部分の動きによるもの。

(委員) 小学校、中学校の施設については全部リスト化されているわけではないのか。

(事務局) 資料3の再編方針のリストでは、学校施設と市営住宅の施設は別途になっており、資料情報の見える化ができていない状況。

(委員) 公共施設マネジメントの方針や計画に沿っていないのか。

(委員) 今の段階では、別に計画を定めている。市営住宅について、老朽化がひどく、多くが空き家になってしまっている。学校については、少子化や地域の活性化のことを考えると、整理していくべきだろうと考えている。次の期からは、学校と市営住宅について、再編方針の中に入れていくたいと考えている。

(委員) 以前協議したが、上宮津の地区公民館が小学校に移転し、小学校の有効活用が進んだ。たまたま、先週旧日ヶ谷保育所の有効活用について関わった。旧日ヶ谷保育所の現地見学の際、となりに旧日ヶ谷小学校があった。1992年の廃校後、現状の建物はそのままだったので、取扱い等について地域と話されていると思う。他にも同じような状態の小学校校舎があるのではないか。小学校は地域の要の施設。廃校になったまま、無人で置いておくよりは、何らかの人の出入りがあって、地域の方が使っていけるような形になれば良いと思う。また、この推進会議でも今後検討していけたらと考えている。

後半で説明のあった庁舎の移転やウォーターフロントエリア活性化について、意見やアイデア等ないか。

ちなみに庁舎移転後の現庁舎についてどうされるか検討しているのか。

(委員) 庁舎移転の動きと並行しながら、現在の庁舎をどうするか検討していく。まずは、市民の皆さんから御意見を頂戴する場を設けて、どういう形があるか議論していくたい。特に本町の商店街が人口減少も相まって寂れてしまっている。本町のまちづくりという観点も含めた幅広の議論が必要。あわせて、ウォーターフロントエリアの活性化の検討が進みつつあるので、この辺り一帯のまちづくりとして考えていくべき。

(委員) 以前は、毎日お昼休みに本町で書店に行って、喫茶店もあって有意義に過ごしていた。先ほど車で前を通ったが、今は空き店舗が目立つ。私の教室の受講生の方が、京都から帰ってきて、商工会議所から紹介された本町の商店街でお店をされた。すると、地域の方から会議への参加や会費の徴収があったことが原因で別の場所に移られた。移られた先は、周りが民家のところで、「誰も何も言ってこられなくてすごくいい」と言っておられた。前からおられる方には申し訳ないが、当たり前に会議への出席や会費の徴収を言われると、移住された方は「そんなつもりで来たんじゃない」となってしまう。本人に話を聞くと、活気のある商店街だと思って、当初の店舗を選んだが、周りは空き家、空き店舗ばかりだった。しっかり情報を得て、選べばよかつたと言われていた。

(委員) その情報は貴重。まちで暮らしていく上での制度は行政が作っているものばかりで

なくて、民間、住民が作っているものもある。それがどちらにあたっているのかを含めて検討ができていくとよい。

(委員) 同じようなお店が集まると自然に集まってくる。その辺のことも含めて、まちづくりにいかしてほしい。

(委員) 未達成の施設は、資料3に書かれてる方針で対応していくということか。またフェーズⅡに入ってくるのか。

(事務局) 達成できていない部分については、来年度からのフェーズⅡに向けての見直しをする。現在の対応方針についてもこれまでの地域との話し合いを通じて出てきた課題も踏まえて、検討し見直していくということになる。

(委員) 私が過去にウォーキングしていたときに、よく公衆トイレを利用していた。同じように高齢の健康志向の方は次から次に公衆トイレがなくなっていくのは困っておられると思う。必要なところには必要なのではないか。高齢者だけでなく、観光客がまち歩き等で利用する人もいると思う。

(委員) なんでもかんでも廃止するのではなく、市民の暮らしを守り豊かにするための必要な施設は残していくべき。今後の検討の中で取り入れていただければ。

(委員) にっこりあの有料化の検討はどの辺まで進んでいるのか。宮津市民だけでなく京丹後や舞鶴からの利用者もいるように聞く。

(委員) にっこりあは多くの方に使っていたいしているが、宮津市民はその半分もない。宮津市民の税金で維持管理・運営しているので、宮津市民の方は無料で使っていただいて、他市町の方とは差をつけていくべきではないか。まだ結論が出たわけではないが、このあたりまで議論されている。

(委員) にっこりあの有料化は、難しいところもあって、にっこりあは集客施設でもある。他市町から人が来ると商業者にとってはとてもありがたいだろう。市民の納得がいく形の結論を見つけていただければ。

◆座長まとめ

○本日は、意見交換ありがとうございました。委員の皆様には暮らしながら、気づいたことがあれば、共有して、みんなでよりよい施設運営に協力いただければありがたい

です。

7 その他

- 事務局から、本日の会議録を作成し、各委員に確認した上で、市のホームページに公開することを説明。
- 次回の開催は、協議案件が出てきたときに随時案内することを説明。

8 閉会